



令和5年度自殺対策研修（J-6）

自死遺児相談従事者養成研修

大阪府では、1日に4人の方が自殺により亡くなっています。

自死遺族、特に遺された子どものこころのケアと、相談支援体制の充実が課題となっています。

この研修は、自死遺児の置かれている状況や子ども特有の悲嘆反応、必要な支援等について理解を深め、より適切な相談支援を行うことができるようになることを目的に実施します。

日 時 令和5年12月1日（金） 午後2時から5時まで

場 所 マイドームおおさか 第1・第2会議室（大阪市中央区本町橋2番5号）

対 象

- ①大阪府内（堺市を除く）の保健所・保健福祉センター、市町村の保健・福祉関係部署等で精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ②大阪府内（堺市を除く）の小学校・中学校、高等学校、支援学校、大学、専修・各種学校等教育機関の職員
- ③大阪府内の精神科医療機関（病院、診療所）の職員
- ④大阪府子ども家庭センターの職員

[定員 100 名]

○講義：テーマ「大切な家族を自死で失った子どもの理解と支援」

龍谷大学短期大学部 教授 黒川 雅代子 氏

○グループワーク 架空事例を用いた遺児支援についての意見交換

○報告：テーマ「自死遺族相談の実際」

NPO 法人グリーフサポート・リヴ 代表理事 佐藤 まどか 氏

[申込み方法]

申込みフォームから直接お申込みください。

（※フォームからのお申込みができない場合は、担当者までお問合せください）

- ①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター） ⑤部署名・課名（任意） ⑥電話番号 ⑦受講動機 ⑧身近なところで死別体験や支援の体験はありましたか ⑨備考（講師への質問や事務局への連絡）

[申込み先]

こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→ [自殺対策研修](#) →「J-6」）

申込みフォーム

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/918d58af-8949-40be-8015-ac179a5072ac/start>

[申込み締切り]

令和5年11月24日（金）午後5時まで *ただし、定員に達しましたら締切ります。

*受講いただけない場合は、開催日までに連絡します。

[問合せ先]

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当：伊藤・南

共 催 大阪府こころの健康総合センター・大阪市こころの健康センター

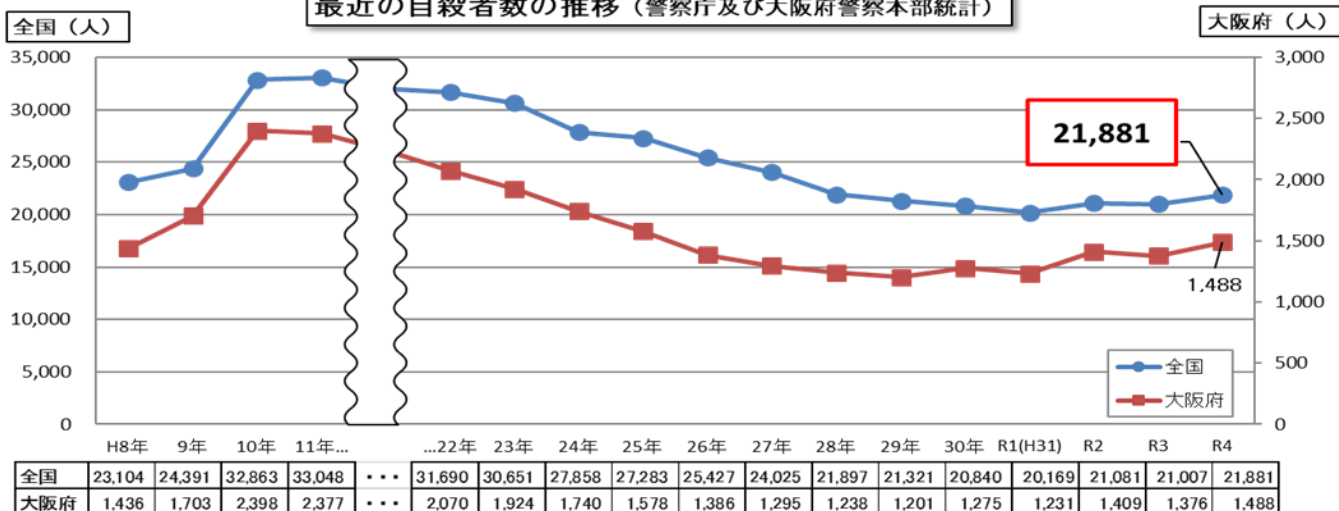
大阪府の自殺の現状

自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



最近の自殺者数の推移（警察庁及び大阪府警察本部統計）



令和4年の自殺者数は、全国、大阪府ともに前年より減少したものの、新型コロナウイルス流行前の令和2年より多く、高止まりとなっています。

大阪府では、前年より112人増の1,488人でしたが、1日当たりでは4人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

会場へのアクセス ご来場は、公共交通機関をご利用ください。



Osaka Metro
中央線「堺筋本町」駅
12番出口から徒歩7分

谷町線「谷町四丁目」駅
4番出口から徒歩7分

